

非血液毒性	G1	G2	G3	G4
悪心	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分; 経管栄養/TPN/入院を要する	-
嘔吐	治療を要さない	外来での静脈内輸液を要する/内科的治療を要する	経管栄養/TPN/入院を要する	生命を脅かす
便秘	不定期または間欠的な症状; 便軟化剤/緩下剤/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	緩下剤または浣腸の定期的使用を要する持続的な症状; 身の回り以外の日常生活動作の制限	排便を要する頑固な便秘; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす; 緊急処置を要する
下痢	ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が中等度増加; 身の回り以外の日常生活動作の制限	ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加; (便失禁;) 入院を要する; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の高度増加; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす; 緊急処置を要する
末梢性運動ニューロパチー	症状がない; 臨床所見または検査所見のみ	中等度の症状がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状がある; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす; 緊急処置を要する
末梢性感覚ニューロパチー	症状がない	中等度の症状がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状がある; 身の回りの日常生活動作の制限	生命を脅かす; 緊急処置を要する
高血圧	収縮期120-139または拡張期80-89	収縮期140-159または拡張期90-99; 再発性または持続性(≥24時間); 症状を伴う拡張期20の上昇または以前正常であった場合の140/90へ上昇; 単剤治療、またはベースラインの治療の変更を要する	収縮期≥160または拡張期≥100; 2剤以上の治療または以前より強力な治療	生命を脅かす; 緊急処置を要する
流涙	治療を要さない	症状があり、中等度の視力低下を伴う(矯正視力0.5以上、または既知のベースラインからの3段階以下の視力低下)	顕著な視力低下(矯正視力0.5未満、または既知のベースラインからの3段階を超える視力低下)	0.1以下
味覚異常	食生活の変化を伴わない味覚変化	食生活の変化を伴う味覚変化(例: 経口サプリメント); 不快な味; 味の消失	-	-
倦怠感	だるさ、または元気がない	だるさ、または元気がない; 身の回り以外の日常生活動作の制限	だるさ、または元気がない; 身の回りの日常生活動作の制限	-
ほてり(ホットフラッシュ)	軽度の症状がある: 治療は要さない	中等度の症状がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状がある; 身の回りの日常生活動作の制限	-
疼痛(関節痛)	軽度の疼痛	中等度の疼痛; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の疼痛; 身の回りの日常生活動作の制限	-
発熱(°C)	38.0-39.0°C	>39.0-40.0°C	>40.0°Cが≤24時間持続	>40.0°Cが>24時間持続
脱毛	遠くからではわからないが近くで見るとわかる50%未満の脱毛; 脱毛を隠すために、かつらやヘアピースが必要ないが、通常と異なる髪形が必要となる	他人にも容易にわかる50%以上の脱毛; 患者が脱毛を完全に隠したいと望めば、かつらやヘアピースが必要; 社会学的な影響を伴う	-	-

血液毒性	G1	G2	G3	G4
白血球 (/μl)	3200-3000	2900-2000	1900-1000	<1000
好中球 (/μl)	1517-1500	1499-1000	999-500	<500
Hb (g/dl)	13.6-10(男) 11.5-10(女)	9.9-8.0	7.9- 輸血を要する	生命を脅かす、緊急処置を要する
血小板 (/μl)	15.7-7.5	7.4-5.0	4.9-2.5	<2.5
AST (U/L) 開始正常	31-90 >ULN-3.0×ULN	91-150 >3.0-5.0×ULN	151-600 >5.0-20.0×ULN	>600 >20.0×ULN
AST 開始異常	>1.5-3.0×ベースライン	>3.0-5.0×ベースライン	>5.0-20.0×ベースライン	>20.0×ベースライン
ALT (U/L) 開始正常	43-126(男)、24-69(女) >ULN-3.0×ULN	127-210(男)、70-115(女) >3.0-5.0×ULN	211-840(男)、116-460(女) >5.0-20.0×ULN	>840(男)、>460(女) >20.0×ULN
ALT 開始異常	>1.5-3.0×ベースライン	>3.0-5.0×ベースライン	>5.0-20.0×ベースライン	>20.0×ベースライン
T-bil (mg/dl) 開始正常	1.6-2.25 >ULN-1.5×ULN	2.26-4.50 >1.5-3.0×ULN	4.51-15.0 >3.0-10.0×ULN	>15.0 >10.0×ULN
T-bil (mg/dl) 開始異常	>1.0-1.5×ベースライン	>1.5-3.0×ベースライン	>3.0-10.0×ベースライン	>10.0×ベースライン
cre (mg/dl)	1.08-1.6(男)、0.8-1.18(女) >ULN-1.5×ULN	1.61-3.21(男)、1.19-2.37(女) >1.5-3.0×ULN	3.22-6.42(男)、2.38-4.74(女) >3.0-6.0×ULN	>6.42(男)、>4.74(女) >6.0×ULN
低Mg血症 (mg/dl)	1.7-1.2	1.1-0.9	0.8-0.7	<0.7
低Ca血症 (mg/dl)	8.7-8.0	7.9-7.0 症状がある	6.9-6.0 入院を要する	<6.0 生命を脅かす
低K血症 (mmol/L)	3.5-3.0 症状がない	3.5-3.0 症状がある、治療を要する	2.9-2.5 入院を要する	<2.5 生命を脅かす
非血液毒性	G1	G2	G3	G4
皮膚乾燥	体表面積の<10%を占め、わずかな乾燥と鱗屑が見られる。紅斑・そう痒はないか、軽症	体表面積の10-30%を占め、乾燥と鱗屑が明らかにみられる。紅斑・そう痒は軽症か中等症、身の回り以外の日常生活動作の制限	体表面積の>30%を占め、乾燥が著明で鱗屑が多量に見られる。そう痒は中等症か重症、身の回りの日常生活動作の制限	-
手掌・足底発赤知覚不全症候群(HFS)	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化または皮膚炎(例: 紅斑、浮腫、角質増殖症)、手掌、足底に違和感があり、日常生活に差し支えない	疼痛を伴う皮膚の変化(例: 角層剥離、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症)、手掌、足底に発赤、水疱形成、日常生活に差し支えることがある	疼痛を伴う高度の皮膚の変化(例: 角層剥離、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症)、手掌、足底に発赤著明、大型の水疱、日常生活がしづらい	-
掻痒症	軽度又は限局性、局所的治療を要する。時にむずむずするが、掻くほどではない。掻かなくとも眠れる	広範囲かつ間欠性、掻破による皮膚の変化、内服治療を要する。身の回り以外の日常生活動作の制限、痒さで目が覚めることがある	広範囲かつ常時、身の周りの日常生活動作や睡眠の制限、副腎皮質ステロイドの全身投与または免疫抑制療法を要する。ほぼ常に掻いている	-
ざ瘡様皮膚炎	体表面積の<10%、顔面を中心に全体で20個前後の丘疹、膿疱がある、日常は気にならない	体表面積の10-30%、顔面、軀幹に全体で50個前後の丘疹、膿疱がある、疼痛、そう痒を時に感じる。身の回り以外の日常生活動作の制限	体表面積の>30%、体全体で100個前後の丘疹、膿疱がある。疼痛、そう痒を常に感じる。日常生活動作の制限、内服抗菌薬を要する。他人との面会が億劫である	面積、症状によらず生命を脅かす紅色丘疹、膿疱、抗菌薬の静脈内投与を要する
爪囲炎	爪襚の浮腫や紅斑、角質の剥脱、軽度の発赤、腫脹を認める。疼痛は無く、日常生活に差し支えない	発赤、腫脹があり、時に痛みを感じ、日常生活に差し支えることがある。局所的治療、内服治療を要する。身の回り以外の日常生活動作の制限	発赤、腫脹が著明で、常に強い痛み、外科的処置、抗菌薬の静脈内投与を要する。身の回りの日常生活動作の制限	-
角化・亀裂	指先・足底に角化・浅い亀裂、疼痛は無し、日常生活には差し支えない	指腹・足底に角化・亀裂、疼痛あり、日常生活に差し支えることがある	足底全体に角化・深い亀裂、疼痛は強い、日常生活が行いづらく、歩行しづらい	-
口内炎	症状が無い、または治療を要さない軽度の症状	経口摂取に支障がない中等度の疼痛、または潰瘍、食事の変更を要する	高度の疼痛、経口摂取に支障がある	生命を脅かす、緊急処置を要する